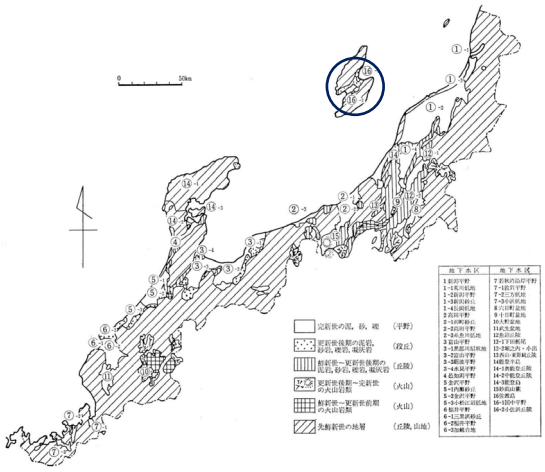
16.佐渡島



地形・地質

国中平野：真野湾に向かってひらける沖積低地からなり，周囲には丘陵地帯が発達します。丘陵は第三紀層の基盤とそれを覆う第四紀層からなります。

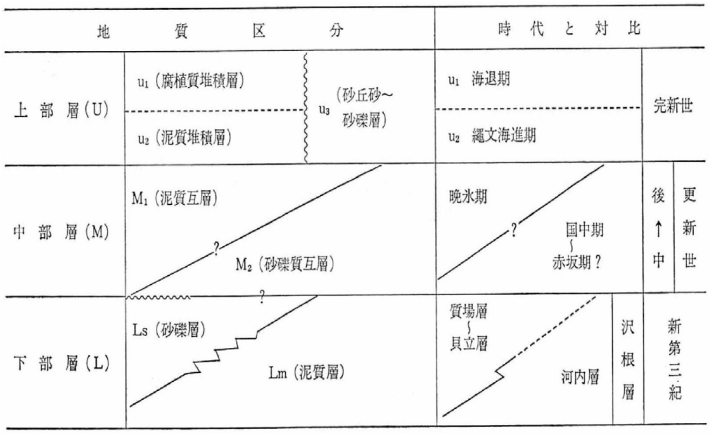
小佐渡丘陵（小木半島）：小木半島は小判形の台地で，山陵部の南北両側には数段の平坦面があります。地質は玄武岩質の火山岩類を主体としています。

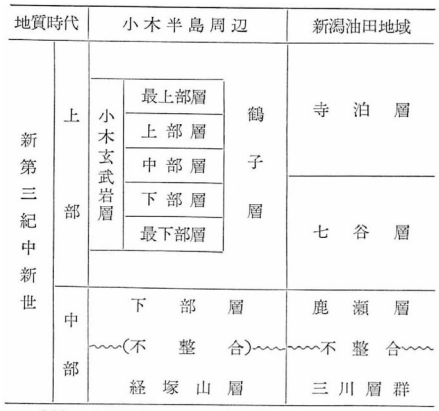
地下水

国中平野：帯水層として良好な層は，U3（砂丘砂・砂礫）・M1（泥質互層）・M2（砂礫質互層）・Ls（沢根層の砂礫層）の４層です。

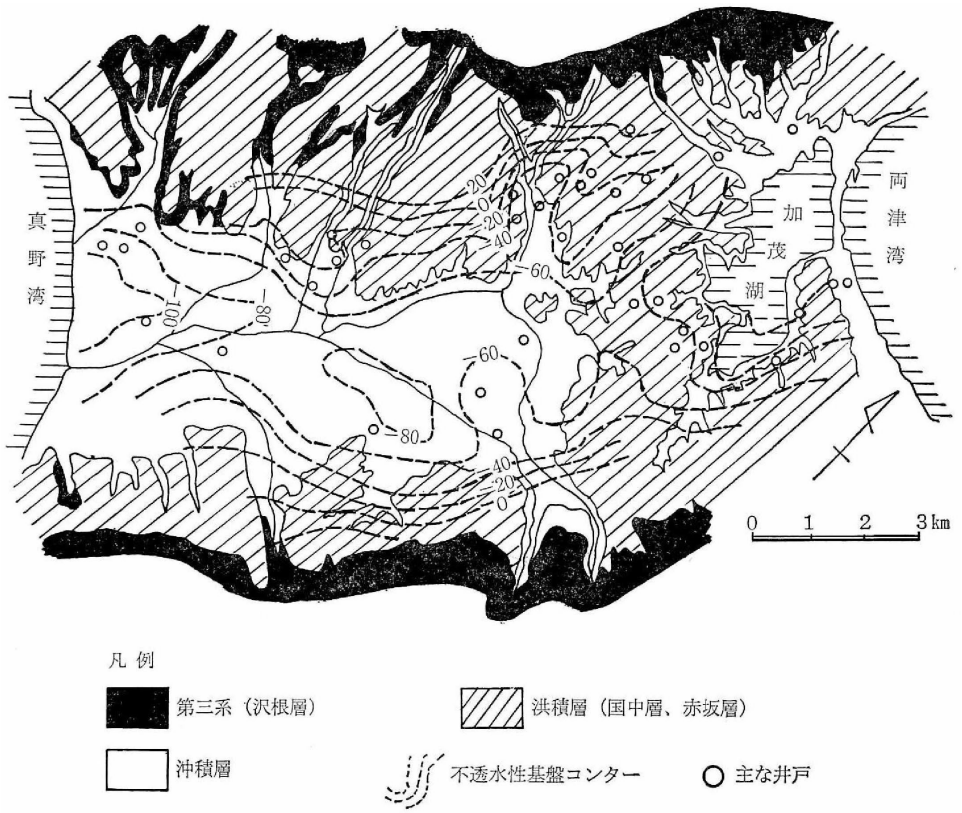
小佐渡丘陵（小木半島）：玄武岩類に胚胎する地下水を利用しているのが主体で，その取水量の半分が横井戸形式によっていることが特徴です。

地層層序表（左図：国中平野、右図：小木半島）

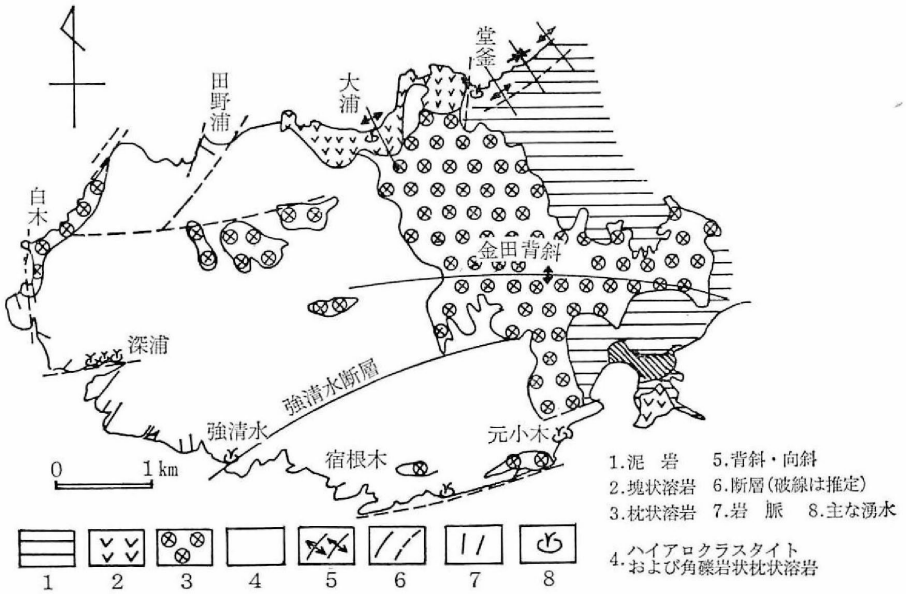




（注） 小木団研グループ（1977）による。



国中平野の水文地質図



小木半島の地質図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）